

鳥獣による農作物被害をなくすために



攻め



守り



地域体制づくり



県作成 Web サイト
「動画で見る有害獣捕獲マニュアル」



県作成 Web サイト
「愛媛県鳥獣対策&ジビエ料理総合ポータルサイト」

愛媛県・愛媛県鳥獣害防止対策推進会議
令和2年3月

鳥獣害対策の基本的な考え方

3つの対策の
バランスが大事!



★被害対策は集落ぐるみで取組むと効果的!

集落環境
整備

適切な
防除

効果的な
捕獲



まず、みんなで勉強!

しっかりと勉強し理解した上で適切な対策をしましょう。

- ★動物の生態や行動
- ★柵の正しい囲い方
- ★集落内にある「怒られないエサ」



集落内のみんなで勉強会



柵の張り方(柵からはみ出した稲穂)



対策は環境づくりから!
集落内を点検してエサになるものを除去する!

鳥獣害対策を進めるには、集落内の環境を整えることが重要です。集落みんなで集落内を点検し、鳥獣の侵入経路や隠れ場所になるところを確認して、鳥獣を寄せ付けない環境づくりをしましょう。

- ★水稲収穫後に生える「ヒコバエ」の除去
- ★農地に放置された商品にならない農作物や野菜クズ等の除去
- ★自家消費野菜や自家用果実は全て収穫
- ★耕作放棄地や放任果樹園を伐採

★集落環境点検が重要!



住民による集落内の点検活動



怒られないエサ(放棄された野菜)



農地周辺の草刈の状況



農地は適切に囲う!

せっかく農地を囲っても適切な方法でないと効果が上がりません。効果の上がる資材で適切に農地を囲いましょう。

- ★加害鳥獣の特性にあわせた資材の選択
- ★維持管理を考えた設置場所(ルート)の選定
- ★集落で協力し、集落ぐるみで囲うと経済的、効果的



ワイヤーメッシュ柵で囲う



集落内を電気柵で囲う



箱わなでイノシシを捕獲



捕獲は効果的
に行く!

農作物に被害を与える鳥獣(里の加害獣)を捕獲しないと被害軽減につながりません。

- ★集落内の被害対策を適切に
- ★山の10頭よりも里の1頭
- ★ウリ坊よりも母親を捕獲



集落環境点検の進め方

獣害に強い集落づくりを進めるには、集落と関係機関（行政、農業団体等）が一体となって集落環境点検を行い、関係者全員が野生動物の出没原因を正しく理解、認識し、地域の課題として整理することで、地域の実情に応じた適切な対策を講じることが重要です。

★集落点検で被害状況を診断★

●点検項目

- ★工 材 《集落内の作物残渣等（野菜クズ、未収穫果実等）》
- ★侵入経路 《加害動物の種類、痕跡（ヌタ場、獣道等）の把握》
- ★隠れ場所 《耕作放棄地、竹林、廃屋等の状況》
- ★対策状況 《防護柵の種類や管理状況（電気柵、トタン柵等）》

●用意するもの

- ★集落地図
- ★筆記用具
- ★カメラ
- ★電圧テスタ
- ★双眼鏡
- ★メジャー など

★さあ！集落点検活動をしてみましょう★

点検前に打合せ



集落点検の実施



◎農地ごとの被害情報や野生獣の移動、侵入経路などについて点検、記録する。

【点検のポイント】

- ・防護柵のつなぎ目、地際を確認
- ・水路の対策処理状況
- ・獣の痕跡（足跡、糞等）
- ・未収穫果実や廃棄野菜等の放置状況
- ・獣道やヌタ場、ヤブの場所等

情報を地図に整理



対策案の検討



◎集落点検により得られた情報を地図にまとめる。

《地図に書き込む内容例》

- ・防護柵や捕獲檻・わな等の設置状況
- ・加害獣の侵入経路や移動経路等

◎対策案を検討する。

- ・集落ですぐ取り組むべき課題を整理。
- ・センサーカメラの映像を利用すると効果的。
- ・役割分担などについて合意形成を図る。

対策の実行



対策の見直し・改善

諦めずに補修・改善・追加対策を！



◎対策の実施

- ・できる対策から取り組む。
- ・時間のかかる対策は、関係者と協力。

◎侵入された場合は対策が不十分。再度、対策を見直し、改善を図る。

- ・点検は定期的実施。管理道があると効率的。
- ・メンテナンスフリーの侵入防止柵はない。
- ・侵入防止柵の地際や水路等の開口部は要確認。

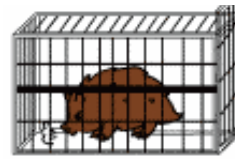
★令和2年度における支援事業の概要★

◆鳥獣被害防止総合対策事業（国補）

【ソフト対策】

《事業内容》

- 鳥獣被害対策実施隊等による地域ぐるみの被害防止活動
 - ・捕獲機材の導入 ・鳥獣の捕獲、追い払い ・緩衝帯の整備
 - ・ICT等を用いた被害軽減に結びつく新技術実証
 - ・スマート捕獲の推進 ・ジビエ利活用の推進
 - ・捕獲を含めたサルの複合対策 ・他地域の人材を活用した捕獲 等
- 捕獲活動経費の直接支援
- 都道府県が実施する広域捕獲活動、新技術実証、人材育成活動
- 鳥獣被害防止活動の地域リーダーや対策の中心となるコーディネーター育成のための研修



捕獲機材の購入



実施隊による捕獲

《事業主体（事業実施主体）》市町（市町協議会、民間団体）

※地域協議会の取組みは侵入防止、個体数調整、生息環境整備の複数対策を実施する地域が対象

《補助率》1/2 以内等

（鳥獣被害対策実施隊、民間団体の活動は定額 [市町当たり 200 万円以内等]）

捕獲活動経費の直接支援は、獣種等に応じて定額

ジビエの処理施設へ搬入した場合：9 千円 / 頭

焼却施設等へ搬入した場合：8 千円 / 頭

搬入しない場合：7 千円 / 頭（イノシシ、シカに限る）

これ以外の鳥獣は現行どおり

【ハード対策】

《事業内容》

- 侵入防止柵等の被害防止施設※
- 捕獲鳥獣を地域資源として活用するための処理加工施設
- 焼却施設等

《事業主体（事業実施主体）》市町（市町協議会又はその構成員）

《補助率》1/2 以内（※侵入防止柵の自力施工は資材費相当分の定額補助が可能）



獣肉加工処理施設



侵入防止柵の整備

◆鳥獣害防止施設整備事業（県単）

【ハード対策】

《事業内容》

- 侵入防止柵等の被害防止施設
 - 電気柵、金網柵、防鳥網 等
- 鳥獣捕獲対策
 - 捕獲用具（箱わな、囲いわな）
- 周辺環境改善対策
 - 緩衝帯の設置
- 獣肉処理施設備品整備

《事業主体（実施主体）》市町（市町、市町協議会、JA、認定農業者、営業集団 等）

《補助率》1/3 以内



侵入防止柵の整備



捕獲機材の購入



緩衝帯の整備



電気さくの設置にあたっては、法令等により定められる事項を守ってください。

安全のための設置ポイント ①

電気さく用電源装置を使用すること。



安全のための設置ポイント ②

危険である旨の表示をすること



安全のための設置ポイント ③

漏電遮断器を設置すること



安全のための設置ポイント ④

開閉器(スイッチ)を設置すること





えひめ地域鳥獣管理専門員 ～地域の鳥獣害対策を牽引～

地域の鳥獣害対策を牽引する人材を育成

鳥獣害に関する地域課題の解決に向けて、鳥獣害対策を専門的立場から指導できる人材を育成するため、県では平成 30 年度に、えひめ地域鳥獣管理専門員制度を創設しました。

これまでに、県・市町・JA 等の受講生 18 人が認定を受け、県下各地で活動しています。



受講生が認定を受けるまで

○基礎講座

「鳥獣の生態」、「被害特性」、「捕獲」、「防除」、「関係法令」など、基礎的な知識を習得

○実践講座

専門事業者、地元猟友会等と連携し、集落の課題解決に向けた取り組みを実践しながら、専門的な技術等を習得

○審査

修了試験、活動報告会の結果、一定の水準に達したと認められた受講生は鳥獣管理専門員に認定



定期報告会



実践講座；箱わなの状況確認

鳥獣管理専門員の認定状況（人）

	県職員	市町職員	地域おこし協力隊員	JA 職員	計
平成 30 年度	5	4	1		10
令和元年度	2		1	5	8
計	7	4	2	5	18



愛媛県有害鳥獣ハンター養成塾 ～新たな狩猟者を確保～

捕獲の担い手を育成

有害鳥獣捕獲の新たな担い手を確保するため、狩猟の魅力まるわかり講座を開催し、農作物等の被害実態や鳥獣・猟具等に関する基礎知識の習得を図るとともに、講座修了者に対して免許取得等に係る経費を支援し、銃猟及びわな猟免許の取得を促進します。

講座の内容

1 対象者の条件

第一種銃猟免許もしくはわな猟免許を新たに取得する者で、将来にわたり、県内で有害鳥獣捕獲活動に参加する意志のある者等

2 定員

50 名予定

3 内容

○狩猟の魅力まるわかり講座

「鳥獣被害の現状」や「捕獲の基礎知識」、「狩猟の心構え」、「捕獲獣解体処理の見学」など年間 4 回の講座を開催

○狩猟免許取得支援

要件を満たす受講生には、免許取得、銃砲所持許可等にかかる経費の一部を定額補助

受講生の募集は例年 4 月に行います。興味のある方は県庁農産園芸課鳥獣害対策係または各市町担当課へお問い合わせください。



座学：捕獲の基礎知識



現地：捕獲獣の解体見学



加害鳥獣の生態と被害対策について

～鳥獣の生態や特徴を正しく理解し、被害対策に取り組みましょう～

★イノシシの生態と特徴★

◎生態

- 【生活】 本来は昼間活発に行動。人間を恐れ日没から夜間に行動。
- 【行動】 行動範囲は数 km 四方で、定着と移動を繰り返す。海を数 km 泳ぐことも。
- 【食性】 雑食性。人間の食べ物は全て食べる。秋の堅果類は大好物。
- 【集団】 オスは単独生活。メスは子供や姉妹と群れを作る。オスは交尾期に群れに入り、一夫多妻制。
- 【繁殖】 交尾期は年に 1 回で、12 月～ 2 月頃。出産は 4 月～ 6 月頃。メスは 2 歳で初産を迎え、5 頭前後を出産。自然界での寿命は、オスで 6 歳、メスで 10 歳程度。

◎特徴

- ★きわめて警戒心が強く、臆病。安全な場所では大胆に行動。
- ★学習能力は高く、光や音、においなどによる忌避効果は一時的。
- ★ジャンプ力は最大 120cm。
- ★嗅覚は犬並み、鼻は 70 kg 程度のものを持ち上げる。
- ★柵等の障害物があると飛び越えるより、潜りこむことをする。



★主な対策★

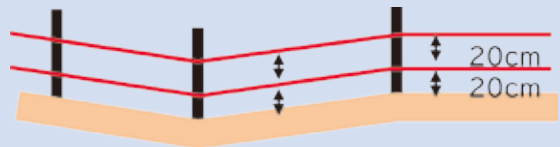
★集落環境の整備【緩衝帯】

- (農地に接する山林や耕作放棄地等の整備)
- ・隠れ場所がなく見通しの良いところは警戒する。
- ・見通しの良い場所は、すみかになりにくい。



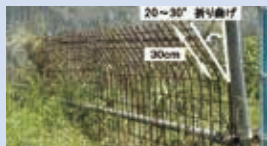
★電気柵

- ・皮膚は剛毛なので、確実に鼻に当たるように柵線を設置。
- ・柵線の高さは、絶えず 20 cm、40 cm を保持すること。
- ・地形の凸凹にあわせて、支柱を追加する。
- ・碍子は外側で、支柱と柵線は接触しない。
- ・草刈等を励行し、漏電を防ぐ。
- ・設置後は 24 時間通電する。



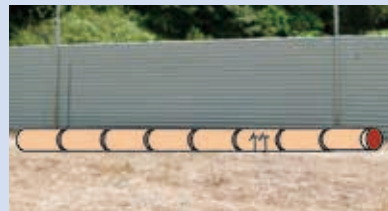
★ワイヤーメッシュ柵

- ・目合いは 10 cm 以下とする。
- ・結束線は腐食に強いステンレス製が良い。
- ・つなぎ目、地際を掘り返されないよう、しっかり固定。
- ・地形の凸凹に合わせて隙間なく張る。
- ・ワイヤーメッシュの横筋は圃場側とする。
- ・上部を折り曲げ (20 ~ 30°)、忍び返しをつける。曲げすぎに注意。



★トタン柵

- ・トタンを 2 本の支柱でしっかりと固定。(挟む)
- ・繋ぎ目や角は隙間がないよう約 20 cm 重ねる。
- ・地際を掘り起こされないように設置。丸太や竹を置くと効果的。



★防護柵設置の注意点★

- まず潜り込もうとするので、地際に穴や隙間は作らない。
- トタンやワイヤーメッシュ柵の下部はしっかりと固定する。
- 柵は定期的に点検や除草等の管理を行う。
- 突破されても、諦めず、補修、補強を行う。

足跡



副跡は残らない事もある

★ニホンジカの生態と特徴★

◎生態

- 【生活】 昼夜関係なく行動。昼は森で、夜になると人里に現れ農作物を食害。
- 【行動】 行動範囲は50～100ha、季節により行動範囲が変動。
- 【食性】 草食性で、植物は殆どなんでも食べる。
- 【集団】 オスは繁殖期以外は単独またはオスグループで生活。メスは母親と娘の血縁関係のあるグループで生活。オスは発情期に「フィーヨー」という大きな泣き声を発し、強いオスは多くのメスを囲い込んでハーレムを形成。
- 【繁殖】 発情期は年に1回で、10月～11月頃。出産は5月～6月頃。通常は1産1仔。栄養状態がよければ、満1歳の秋に発情し約7割が妊娠。自然界での寿命は、オスで10歳、メスで12歳程度。

◎特徴

- ★抜群のジャンプ力で、1.8 m柵を飛び越えることもある。
- ★防護柵などの障害物は、飛び越えるより潜り込むことのほうが多い。
- ★蹄はあまり丈夫でなく、足場の悪いところを嫌う。
- ★視覚、聴覚は人間と大差が無いが、嗅覚が発達。



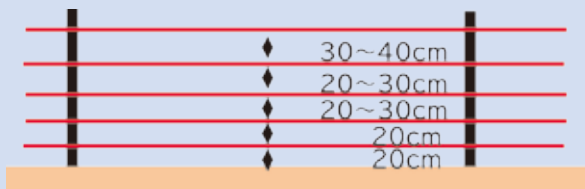
★主な対策★

★集落環境の整備 [緑草を減らし、餌場にしない]

- ・農地管理や作業体系を見直し雑草量を減らす。
- ・9月以降の草刈は最低限にする。
- ・不要な残渣（ひこばえ、野菜クズ）等を放置しない。
- ・雑草も含めて、柵で囲い込む。

★電気柵

- ・シカの場合は、柵線を5段に張る。高さは下図を参考に。
- ・地形の凸凹にあわせて、支柱を追加する。
- ・跳び越えも想定し、支柱は2 m程度を用いる。
- ・草刈等を励行し、漏電を防ぐ。



★ワイヤーメッシュ柵

- ・高さ2 mのワイヤーメッシュを用いて施工する。
- ・もぐりこみ防止のため、ワイヤーメッシュの下部30 cm程度折り曲げると効果的。
- ・下部の固定には鉄筋のペグを用い斜めに打ち込む。



★金網フェンス柵

- ・高さは1.8 m以上を確保する。
- ・つなぎ目、地際を掘り返されないように、しっかりと固定。
- ・地形の凸凹に合わせて隙間なく張る。
- ・潜り込み対策として金網柵の下部30 cm程度折り曲げ施工する。



★樹脂ネット柵

- ・柵の高さは1.8 m以上を確保する。目合いは10 cm以下にする。
- ・ネットは支柱より外側に張る。
- ・地面とネットの接地部分を横ロープや杭等を用いて固定する。
- ・ネットの規格どおり施工。(50 m用は50 mで施工)
- ・噛み切られないよう、丈夫な材質を選ぶ。



★防護柵設置の注意点★

- 侵入は、ほとんどがもぐりこみ。
- 防護柵の設置には、穴や隙間は作らないように施工する。
- 支柱の高さは、飛び込みによる侵入に対応できるよう2 m以上確保する。
- 柵は定期的に点検や除草等の管理を行う。
- 突破されても、諦めず、補修、補強を行う。

足跡



★ニホンザルの生態と特徴★

◎生態

- 【生活】 明るい時間帯だけ行動し夜間には活動しない。早朝と夕方に採食。
- 【行動】 群れごとに餌を求めて 1000ha 以上の行動範囲を、周期的に移動。
- 【食性】 植物性ものを中心に食べる。果実や虫は好物だが、魚や肉は食べない。
- 【集団】 数十～百頭程度の群れによる集団生活。群れはメスとその子供が基本でメスは生涯群れから離れない。オスはオトナになると出生群を離脱し、ハナレザルやオスグループとして別生活を行なう。
- 【繁殖】 交尾期は年に 1 回で秋から冬。出産期は春から夏。メスは 5～7 歳で初産を迎え、2～4 年に 1 頭の割合で出産する。寿命は 20 歳程度。

◎特徴

- ★きわめて高い学習能力。「人馴れ」すると最悪の事態に発展。
- ★危険なときは高いところに逃げる習性、本来は森林から遠くに離れることは少ないが、人馴れした個体は、林縁から 100～200 m ほど離れた農地にも出没する。
- ★共同作業、洞察、ものまねはできない。
- ★群れで行動するため、被害は甚大となる。
- ★木登りやジャンプは大得意。(垂直跳び約 2 m、幅跳び約 2 m)



★主な対策★

★★対策の基本★★

サルが出没しにくい農地や集落にする。

《サルに学習させる》

- ◎集落や農地で餌を食べるのは、危険で割に合わない。
- ◎人に見つかり、怖い目に遭う

★集落環境の整備

【守りやすい農地、集落へ改変】

- ◎移動経路になっている高木やヤブ等を刈り払い。
- ◎庭木を剪定し、サルの移動を妨げる。
- ◎圃場や作物の栽培方法をサル対策用に変える。
 - ・狙われやすい作物の周りに、狙われにくい作物を栽培。
 - ・かぼちゃ等のツル性果菜類は柵栽培で網をかける など。

【集落内の誘引物を減らす】

農地

- ◎ひこばえ等の収穫残渣を減らす。
- ◎収穫しない果樹（カキやクリ等）は伐採する。
- ◎圃場には出荷しない野菜や果樹を廃棄しない。

集落

- ◎生ゴミはコンポストに入れたり、焼却する。
- ◎お墓のお供え物は、持ち帰る。

★追い払い

【サルに「キケン」を覚えさせる】

《集落の餌場は割に合わない（危険な）場所》

- ◎サルを見たら、自分の農地でなくても追い払う。
- ◎集落の住民が連携して追い払う。
- ◎ロケット花火は本気で狙う。
(山火事に注意。煙火を使用する場合は直接手に持たない。やむを得ない場合は、専用の手持ち用ホルダーを使用のこと。)
- ◎電動ガンは本気で当てる。
- ◎モンキードッグを活用して追い払う。
- ◎電波発信機を利用し、サルの行動をモニタリングしながら追い払う。



★防護柵の設置

- ◎猿落（えんらく）君（奈良県開発）、おうみ猿落君（滋賀県開発）
 - ・ネットとダンポールなどを用いて、安価で容易に設置できる。（菜園に適）
- ◎金網電気柵
 - ・高さ 1.8～2 m の金網を張った上に、柵線を複数本設置するが、コストが高いため、設置ラインと管理計画を綿密に整理し、設置後は、草刈や通電確認等を行う。
 - ・柵の設置ラインは、樹木や建物から 5 m 以上離す。
- ◎獣塚くん 3号
 - ・メタルラスと柵線を用いて感電させ侵入防止を図るが、コスト高となる。
- ◎樹脂ネット型電気柵
 - ・樹脂ネットに金属線が編みこまれており、プラス線とマイナス線を配置する。



★防護柵設置の注意点★

- 防護柵に近づかないよう、定期的に草刈等を行う。
- 一度に何頭ものサルが飛びつくと、ポールが折れることがあるので、その都度交換する。
- 噛み切られたネットは補修する。
- 防護柵のコーナーはしなりが悪いため、網は余裕をもって張る。

足跡



★カラスの生態と特徴★

◎生態

- 【形態】 ハシブトガラスは全長 56cm、体重 700g。嘴は太く上嘴は大きく湾曲。ハシボソガラスは全長 50cm、体重 500g。嘴はハシブトガラスより細く湾曲なし。
- 【行動】 市街地、農耕地、林、河原、海岸、山地などいたるところにいる。ハシブトガラスは市街地や林を好み、ハシボソガラスは農耕地など開けた環境を好む。
- 【食性】 雑食性で残飯や動物の死体など何でも食べる。昆虫や種子も良く食べ、果実、鳥の卵、雛なども食べる。冬には稲の落ちモミを多く食べている。
- 【集団】 一夫一妻制で直径数百メートルの縄張りを持つ。群れは縄張りをもてない個体で構成。秋から冬には松林などに数百～数千羽でねぐらを作って眠る。
- 【繁殖】 3月～7月に樹上や高圧線の鉄塔に木の枝や針金で巣を作り3～5個の卵を産む。抱卵はメスだけが行い、卵は 20 日前後で孵化し、メスとオスが餌を与えて約 35 日ほどで巣立つ。巣立ち後も 50～100 日ぐらい家族で行動する。

◎特徴

- ★鳥の中でも賢い鳥。
- ★見つけた食物をその場で食べず、後で取り出して食べる貯食行動をする。
- ★ハシブトガラスはハシボソガラスに比べて動物質の餌を好む傾向がある。



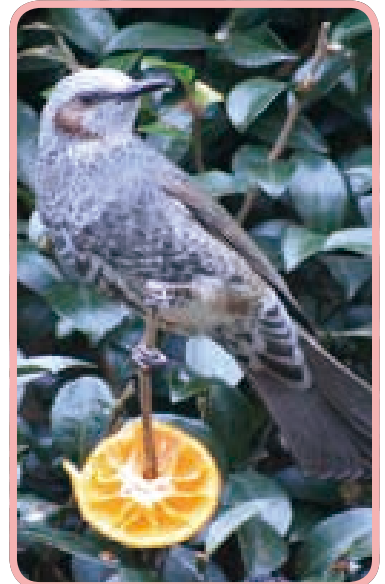
★ヒヨドリの生態と特徴★

◎生態

- 【形態】 全長 28 cm、体重 70～100 g。大体ムクドリと同じ大きさだが、尾が長く頭がぼさぼさ。全体に濃い灰色で、頬と脇が赤っぽい。
- 【行動】 樹上で過ごすことが多く、波形を描いて飛び、ホバリングも可能。
- 【食性】 昆虫類や樹木・草の果実、花などの甘いものを好む。ムクドリとの違いは、ムクドリはショ糖を消化できないので、かんきつ類は食べないが、ヒヨドリは好んで食べる。
- 【集団】 一夫一妻制で繁殖期には 1 羽か 2 羽で行動し、冬季は数羽から 100 羽以上が集まることが良くある。本州以南は留鳥。
- 【繁殖】 5月中旬～8月に林や公園、庭で繁殖する。樹上に枯れ草やビニールの紐で巣を作り、3～5個の卵を産む。抱卵はメスだけで、14 日間で孵化し、メスとオスが雛に餌を与えて 10 日ほどで巣立つ。同じつがいでも年に 2～3 回繁殖することがある。

◎特徴

- ★被害は、年による変動が多い。
- ★被害は 1～3 月に多く発生する。
- ★被害地域は柑橘の栽培地の関東以南と関東を始めた露地野菜産地で多い。



★主な対策★

★防鳥ネット

- ・作物を網で被う方法が最も確実で、効果は高い。
- ・一般的には 10a 当たり 50 万円程度 of 設置費用が必要。
- ・目合いはカラス 75mm、ヒヨドリ 30mm 以下。

低コスト簡易防鳥ネット
【津島果樹同士会モデル】



ペットボトルによる
先端部処理

★テグス

- ・農地に鳥の飛行を邪魔するようにテグスを張る。
- ・大型の鳥（カラス）にはある程度効果があるが、ヒヨドリ等にはあまり効果がない。
- ・中央農研センターが「くぐれんテグス君」を開発。



カラス対策「くぐれんテグス君」



被覆資材で果実を被覆

★果実被覆資材

- ・ポリエステル製布袋や紙袋で果実を被覆。
- ・紙袋は緑色が効果的。

★防除対策の注意点★

効果は
一時的！

- 吹き流し ●CD ●マネキン ●かかし ●鳥の死体
 - 目玉模様 ●ディストレスコール ●爆音機
- 【効果が長続きしないので、使用する期間を区切って使用】

県有施設等での被害防止実証展示

愛媛県では、鳥獣害防止施設の設置技術等について広く農業者等に普及啓発を図ることを目的に、県有施設や管内現地で鳥獣害防止施設の実証展示を行なっています。

①農林水産研究所	松山市上難波甲 311 番地	TEL(089)993-2020
②//果樹研究センター	松山市下伊台町 1618 番地	TEL(089)977-2100
③//果樹研究センターみかん研究所	宇和島市吉田町法花津 7 番耕地 115	TEL(0895)52-1004
④//林業研究センター	久万高原町菅生 2 番耕地 280-38	TEL(0892)21-1265
⑤東予地方局地域農業育成室四国中央農業指導班	四国中央市中之庄町 1684-4	TEL(0896)23-2394
⑥東予地方局地域農業育成室	西条市丹原町池田 1611	TEL(0898)68-7322
⑦今治支局地域農業育成室しまなみ農業指導班	今治市伯方町木浦甲 4637 番地 3	TEL(0897)72-2325
⑧今治支局地域農業育成室岩城駐在	上島町岩城 3570 番地	TEL(0897)75-2014
⑨中予地方局地域農業育成室久万高原農業指導班	久万高原町入野 263 番地	TEL(0892)21-0314
⑩八幡浜支局地域農業育成室	八幡浜市北浜 1 丁目 3-37	TEL(0894)23-0163
⑪八幡浜支局地域農業育成室西予農業指導班	西予市宇和町卯之町三丁目 434-1	TEL(0894)62-0407
⑫南予地方局地域農業育成室鬼北農業指導班	鬼北町興野々 1880 番地	TEL(0895)45-0037
⑬南予地方局地域農業育成室愛南農業指導班	愛南町城辺甲 2420	TEL(0895)72-0149

展示内容

(1) 電気柵

対象獣	イノシシ、ニホンジカ
概要	電気ショックを与え獣の侵入を防止。 草刈等の漏電防止対策が重要。
コスト	約 150 円 / m、電源本体 (3 ~ 8 万円)
展示場所	①農水研、②果樹研、③みかん研、⑧岩城
備考	★柵線を地面から 20cm、40cm に張る。 ★地面の起伏が多い場合は、支柱を増やし、柵線が地面から 20cm になるよう張る。《シカは 5 段以上張る》(20,40,70,100,130cm)



(2) ワイヤメッシュ柵

対象獣	イノシシ、ニホンジカ
概要	物理的に獣の動線を遮断。柵の下部 20cm を折り曲げると掘り起こし、潜り込み対策に効果的。
コスト	高さ 120cm : 約 550 円 / m ~、180 cm : 約 1000 円 / m ~
展示場所	①農水研、②果樹研、③みかん研、④林研、⑧岩城、⑫鬼北
備考	★柵の上部 20cm を折り返す (忍び返し) ことで、イノシシの飛び込みを抑制できる。 ★ワイヤメッシュの表と裏に注意し、施工する。(横筋が圃場の内側) ★シカ用は 1.8 m 以上の高さが必要。



(3) トタン柵

対象獣	イノシシ
概要	物理的に獣の動線及び視界を遮断し、被害を防ぐ。
コスト	約 810 円 / m ~
展示場所	①農水研
備考	★トタンのつなぎ目や地面との間に隙間ができないように設置する。 ★地際の掘り返し対策のため、地面に丸太や竹を置いて補強すると良い。



(4) ネットフェンス

対象獣	イノシシ、ニホンジカ
概要	ネットが獣の脚に絡みつき、その煩わしさから侵入を防ぐ。
コスト	約 440 円 / m
展示場所	①農水研、②果樹研、③みかん研、④林研、⑧岩城
備考	★樹脂製のため、破れる場合があるので、常に確認することが重要。 ★獣の脚に絡むよう、ネット下部を手前に 50cm 程度出して設置する。



(5) 白落柵 (埼玉県開発)

対象獣	ハクビシン、アライグマ
概要	対象獣の習性 (何でも登る) を利用し、ネット上部に柵線を設置し、感電させて獣の侵入を防ぐ。
コスト	約 310 円 / m ~、電気柵本体 (3 ~ 8 万円)
展示場所	①農水研、⑨久万高原
備考	★ネットを確実に登らせるため、ネット下部を 20cm 程度地中に埋める。 ★ネットと直管の隙間は作らない。★電線は直管の上、5cm の高さに張る。



(6) 通電ネット

対象獣	イノシシ、ハクビシン等小動物
概要	ネットに編み込んだステンレス線に通電し、電気ショックにより獣の侵入を防ぐ。
コスト	約 600 円 / m ~、電気柵本体 (3 ~ 8 万円)
展示場所	⑦しまなみ
備考	★傾斜地における設置が容易。 ★収穫期以外はネットを下すことにより日々の栽培管理の作業性は向上。



(7) 猿落くん《奈良県開発》

対象獣	ニホンザル
概要	物理的に獣の動線を遮断し被害を防ぐ。
コスト	約 860 円 / m ²
展示場所	⑨久万高原
備考	★弾性ポールやネット等を用いて比較的軽量で簡易的に設置できる。 ★発展系として、改良型猿落君がある。 ★電気柵との組合せも可能。



(8) おじろ用心棒

対象獣	サル、イノシシ、シカ、小動物
概要	物理的に獣の動線を遮断するワイヤーメッシュと電気ショックを与える電気柵を組合せ獣の侵入を防止する。
コスト	約 60,000 円 / 台 ²
展示場所	⑨久万、⑫鬼北
備考	★支柱にも電線を取り付けることで、サルが支柱をつかんでも感電するため、侵入防止効果が高い。



(9) 移動式大型捕獲檻＋遠隔監視装置

対象獣	サル、イノシシ、ニホンジカ等
概要	大型捕獲檻を遠隔監視装置で監視し、最もよいタイミングで箱檻の扉を閉め獣を捕獲する。
コスト	大型捕獲檻約 600,000 円 / 基 (4m × 4m) ~ 遠隔監視装置約 50 万円 / 式 ²
展示場所	①農水研、⑤四中、⑥東予、⑦しまなみ、⑩八幡浜、⑪西予、⑬愛南
備考	★餌付けによりサル等を誘引し、群れごと捕獲することができる。サルの捕獲では生息数調査、群れの行動調査に基づき捕獲檻を設置する。サルの捕獲では餌付けに数か月を要する。



大型捕獲檻

監視カメラ

ライブ映像の配信

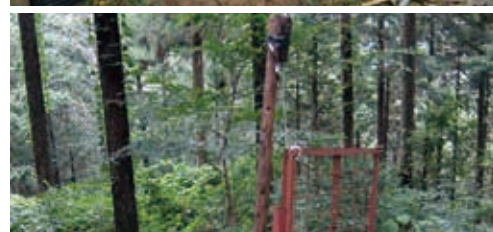
(10) 移動式大型捕獲檻 (サル用)

対象獣	ニホンザル
概要	檻内へは、天井部分の開口部から容易に侵入できるが、逃亡はできない構造で、群れごと捕獲する。
コスト	約 100 万円 ²
展示場所	⑤四国中央
備考	★餌付けによりサルを檻に馴れさせることで、群れごと捕獲が可能。群れの出没状況や行動調査に基づき設置場所を選定する。捕獲までの餌付けに数か月を要する。



(11) 広域型震センサー

対象獣	イノシシ、ハクビシン等
概要	震の作動を感知した機器がメールを送信し、管理作業の効率化を図る。
コスト	親機約 16 万円 ² 、子機 (1 台) 5 万円 ²
展示場所	⑪西予
備考	★機器によっては無線局の登録が必要となり、申請手数料及び電波利用料の納付が必要となるほか、別途通信料がかかる。



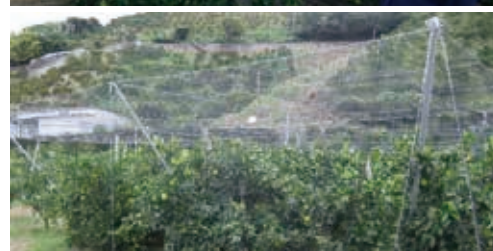
(12) ミシン糸利用による鳥害防止

対象獣	鳥類
概要	ミシン糸を果樹に直接張ることにより、鳥類の被害を防止する。
コスト	ミシン糸 約 1,000 円 / 5,000 m
展示場所	⑪西予
備考	★糸張り機は、ペットボトル、塩ビパイプ等で自作可能。 ★県内メーカーが糸張り機を商品化し、販売中。



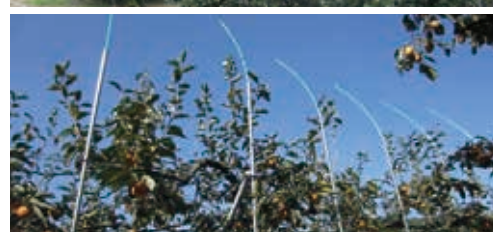
(13) 黒色防鳥網

対象獣	鳥類
概要	園地をネットで被覆しヒヨドリ等の鳥類による被害を防止する。
コスト	約 220,000 円 / 10 a ²
展示場所	②果樹研、③みかん研
備考	★糸の太さが従来の青色防鳥網の 2.5 倍となり鳥が絡みにくい。価格は従来品より 1 割高であるが、耐用年数が従来品の 2 倍の 10 年継続使用が可能となり実質 5% のコストダウン。



(14) くぐれんテグス君

対象獣	カラス
概要	圃場の周囲を防鳥網で囲ったうえで、弾性ポールを用いてテグスを天井部に張りカラスの侵入を防止する。
コスト	約 100,000 円 / 10a ²
展示場所	②果樹研、③みかん研、⑥東予
備考	★虫害の発生が予想される園地では、防虫ネットとの選択を検討する。





狩猟及び有害鳥獣捕獲について

◆野生鳥獣の捕獲は法律により原則禁止

・野生鳥獣の捕獲が認められているのは「狩猟による捕獲（以下、狩猟）」又は「市町長等の許可による捕獲（中でも農業被害においては「有害鳥獣捕獲」）」のいずれかの場合のみ。

◆農作物を野生鳥獣に荒らされて困ったら、有害鳥獣捕獲

・農作物被害を受けた場合は、市町役場の鳥獣被害担当窓口にご相談。

◆狩猟をするためには免許と狩猟登録が必要

・狩猟をするためには免許と狩猟登録が必要で、有害鳥獣捕獲についても原則免許が必要。

◆狩猟免許試験は8月、9月、12月に実施

・試験は、8月、9月、12月に東、中、南予5会場（12月は3会場）で実施。事前に県猟友会が初心者予備講習会を開催。

◆銃器で捕獲するには、別に銃砲所持許可が必要

・銃砲所持許可に関する問い合わせ窓口は、各地域を管轄する警察署の生活安全課。

◆捕獲行為の区分概念図

◎捕獲の時期と場所

区分	時期	場所	
		捕獲禁止の場所	捕獲禁止の場所以外
狩猟	狩猟期間 11/15~2/15	×	○
	イノシシ、シカのみ 11/1~3/15	イノシシ、シカのみ 特別有	○
有害鳥獣捕獲	許可期間 (別表 許可基準)	○ (許可区域)	

◎有害鳥獣捕獲の許可基準（抜粋）

許可権者	鳥獣名	許可基準					被害農林水産物等	
		方法	区域	時期	日数	捕獲羽(頭)数		
市町長	スズメ	銃器・網	被害等区域	随時	60日以内 ※被害が甚大で長期にわたる場合は、90日以内。 ※二ホンザルのみ箱わな及び囲いわなによる場合は、6ヶ月以内。	被害等の防止の目的を達成するために必要な羽(頭、個)数	被害者又は被害者から依頼された者	水稻
	ヒヨドリ	銃器						果樹、畑作物等
	カラス	銃器・わな						水稻、畑作物、人畜、施設等
	イノシシ	銃器・わな						水稻、タケノコ、畑作物、果樹、スギ、ヒノキ、施設等
	二ホンザル	銃器・わな						果樹、シイタケ、タケノコ、水稻、畑作物、人畜、施設等
	ハクビシン	銃器・わな						果樹、畑作物、シイタケ等
	二ホンジカ	銃器・わな						造林木、果樹、畑作物等
その他	地域の特性や被害等の状況に応じて効果的な捕獲方法を検討し、個別に対処する。							

予察捕獲の場合は、上記基準に関わらず、被害発生予察に基づき計画的に捕獲を行うものとする。

◆農作物の被害対策や事業に関するご相談

問い合わせ機関	管轄市町	電話番号
県庁農産園芸課鳥獣害対策係	(県窓口)	(089) 912-2554
東予地方局産業振興課	新居浜市、西条市、四国中央市	(0898) 68-7322
四国中央農業指導班	(四国中央市)	(0896) 23-2394
今治支局地域農業育成室	今治市、上島町	(0898) 23-2570
しまなみ農業指導班	(上島町)	(0897) 72-2325
中予地方局産業振興課	松山市、伊予市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町	(089) 909-8761
伊予農業指導班	(伊予市、松前町、砥部町)	(089) 982-0477
久万高原農業指導班	(久万高原町)	(0892) 21-0314
南予地方局産業振興課	宇和島市、松野町、鬼北町、愛南町	(0895) 28-6145
鬼北農業指導班	(松野町、鬼北町)	(0895) 45-0037
愛南農業指導班	(愛南町)	(0895) 72-0149
八幡浜支局地域農業育成室	八幡浜市、大洲市、西予市、内子町、伊方町	(0894) 23-0163
大洲農業指導班	(大洲市、内子町)	(0893) 24-4125
西予農業指導班	(西予市)	(0894) 62-0407

◆狩猟免許・捕獲に関するご相談

問い合わせ機関	管轄市町	電話番号
県庁自然保護課	(県窓口)	(089) 912-2365
東予地方局森林林業課	新居浜市、西条市	(0898) 68-7438
四国中央森林林業振興班	四国中央市	(0896) 23-2393
今治支局森林林業課	今治市、上島町	(0898) 25-2193
中予地方局森林林業課	松山市、伊予市、東温市、松前町、砥部町	(089) 909-8767
久万高原森林林業課	久万高原町	(0892) 21-1265
南予地方局森林林業課	宇和島市、松野町、鬼北町	(0895) 28-6141
愛南森林林業振興班	愛南町	(0895) 72-0931
八幡浜支局森林林業課	八幡浜市、西予市、伊方町	(0894) 22-2031
大洲森林林業振興班	大洲市、内子町	(0893) 24-4131

◆愛媛県下の鳥獣害対策に係る関連事業、被害状況等については県農産園芸課のホームページをご覧ください。

<https://www.pref.ehime.jp/h35500/ninaitetaisaku/chouju.html>